科目ナンバリング	U-LAS24 20052 SO48						
授業科目名 <英訳>	ロシア語III B R351 Advanced Russian B			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　堀口　大樹		
群	外国語科目群	分野(分類)			使用言語	ロシア語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	金5	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

ベラルーシのノーベル文学賞（2015年）作家スヴェトラーナ・アレクシエーヴィッチの作品、とりわけ戦争に関わる作品を原語のロシア語で読むとともに、ソ連及び現代ロシアの歴史と社会の問題を考える。

[到達目標]

これまでに学んだロシア語の読解力をより強固なものにし、ロシア語のテキストを辞書を使って読めるような、自立したロシア語学習者になる。
またロシア語を学ぶことで、ロシアの文化や社会に関する基本的な知識を持ち、自分なりのロシア観や、ロシアを考慮に入れた世界情勢を把握する視点を得る。

[授業計画と内容]

初級・中級で学んだ文法事項を確認しながら、アレクシエーヴィッチの作品の読解を行う。

1. 『戦争は女の顔をしていない』
2. 『戦争は女の顔をしていない』
3. 『戦争は女の顔をしていない』
4. 『戦争は女の顔をしていない』
5. 『鉛の少年たち』
6. 『鉛の少年たち』
7. 『鉛の少年たち』
8. 『鉛の少年たち』
9. 『最後の証言』
10. 『最後の証言』
11. 『最後の証言』
12. 『最後の証言』
13. アレクシエーヴィッチのインタビュー
14. アレクシエーヴィッチのインタビュー

≪期末試験≫

15. フィードバック

授業14回、期末試験、フィードバック1回とする。

テキストを読む際には、事前に予習が必要である。各自辞書を用いて、単語や表現の意味を調べておく。

発音は極めて重要であるので、テキストを音読してもらう。

ロシア語III B R351(2)へ続く↓↓↓

ロシア語ⅢＢ R351(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

平常点（50%）：授業を受ける姿勢、課題への取り組み
期末試験（50%）

[教科書]

授業で扱うテキストは授業時に配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する
テキストの予習の必要があるため、露和辞典が必要である。 いくつか例を挙げる。

卓上版：『研究社露和辞典』（研究社）、『博友社ロシア語辞典』（博友社）
ポケット版：『コンサイス露和辞典』（三省堂）、『ロシア語ミニ辞典』（白水社） 電子版：『カシオ電子辞書追加コンテンツ（コンサイス辞典）』（CASIO）
オンライン・アプリ辞書：『ロゴヴィスタ電子辞典（研究社露和・和露辞典』（ロゴヴィスタ）、『物書堂アプリ（プログレッシブロシア語辞典）』（物書堂）

[授業外学修（予習・復習）等]

予習のほか、復習にも力を入れ、授業で習った文法事項や単語・表現を自分のものにするよう努めること。
語学の上達は、授業プラス授業外で日々どれだけその言語に触れているかにかかっている。授業以外にも、インターネットなどでロシア語の音楽やラジオを聴いたり、動画を見たり、ロシア語で書かれたサイトを覗いてみたり（もちろん全部わからなくても大丈夫）、ロシア人留学生と交流するなど、積極的にロシア語に触れてもらう。
またロシアやロシア語圏の文化や社会に対して、常にアンテナを張っていてほしい。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]